

富士駅南地区 まちづくり行動計画

富士駅南地区まちづくり協議会 令和4年4月発行

本計画は、地区の将来を見据え、各種団体間の連携のもと、地区の課題解決に向け、概ね今後5年間に効果的・効率的なまちづくり活動を地区が一丸となって計画的に実施していくための指針です。

地区の目標とする将来像

高齢者



- 認知症や身体的機能の低下が起こる「フレイル（加齢により心身が衰えた状態）」の防止など、高齢者の健康を支えるため住民の学習の場や高齢者の参加出来る場を設け、我が家にて健康で長寿を全うできるまち
- 軽度な生活支援をする住民ボランティアが地区全体に活動し、障害を持っても不便なく暮らせるまち
- 自立した生活を高齢者自身が出来るように努力しているまち

子ども



- 近所での声掛けと明るい挨拶で子どもの見守りができるまち
- 地域の歴史や福祉・企業の特徴を知りまちづくりに関心を深める
- 親子全世帯で楽しめる行事を通して外で遊べる機会・交流の場を増やし地域と子どもの交流を深める
- 公園の整備・歩道の確保など、子どもにとって安全なまちづくりを進める

生活



- 生活に困らない交通手段があるまち
- 農業体験や習い事の集いに空き家、空き地を利用する
- ゴミ出し問題ゼロのまち
- 地区内の情報発信と活発な意見交換が行われているまち

自然環境



- 防災に関する高い意識と関心を持ち、知識や情報の交換および減災対策に熱心に取り組む
- 若い防災リーダーや消防団員を育成する
- 自然環境や限られた地域資源に大に関心を持ち、その有効利用や改善向上への強い思いを持つ

地区の資源

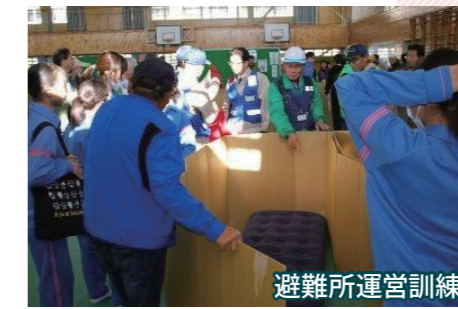
自然・歴史

- 古文書に由来する地区の愛称「小木の里」
- 由緒ある横割八幡宮と、その境内に立つ富士市指定天然記念物のクスノキ
- 名門・開成学園の創立者である佐野鼎の出身地



生活環境

- JR富士駅に近く、各種商業施設、医療機関等も立地する優良な生活環境
- 『福祉のまち駅南』“合言葉はノーマライゼーション”のもと全ての住民が共に助け合い支え合う地域を目指して各区公会堂単位の住民ネットワーク活動を実施
- 各種表彰を受け、県内外からの視察も多い地域防災活動の先進地区



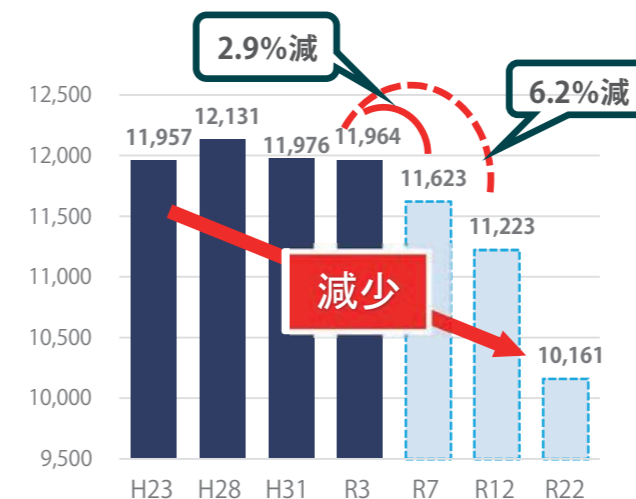
小木の里まつり



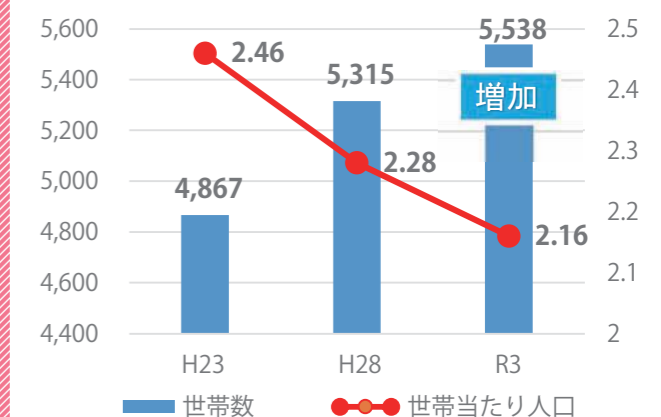
駅南地区に子々孫々に続く地域住民手づくりの夏祭りを創りたい!と当時のまちづくり推進会議（現まちづくり協議会）にて計画、翌年1990年（平成2年）に第1回「小木の里まつり」が開催されました。
2019年（令和元年）には第30回記念大会として、盛大に開催されました。

地区の現状

人口の推移



世帯数・世帯当たりの人口の推移



全世代、住民同士が支え合うまち。富士駅南

地区の課題

高齢者を取りまく環境について

- 顔の見える関係づくりの強化
- 支え合いや見守り活動促進
- 健康増進に関する学習会や交流の機会を拡充
- 生活支援体制の構築
- 自発的に学習できる機会や場の提供
- バリアフリー化の促進
- 安全安心に移動ができる道路環境の整備

子どもを取りまく環境について

- 地区全体で子どもの見守りができる環境整備
- 地域に愛着を持てる子どもたちを育てるための学習機会の提供
- 防犯設備の拡充
- 高齢者による子どもとの遊び（学び）の場の創出
- 子ども会活動の充実と会員確保
- 子育てしやすい環境（人的ネットワーク）整備

生活環境について

- 生活に困らない交通環境整備
- 空き家・空き地情報の収集と活用
- 住民のための交流環境整備
- ボランティアを活用し、ルールを守るゴミ出し
- ICT(情報通信技術)を活用した情報交換

自然環境について

- 住民全員による防災意識の向上
- 災害時に自立・協力できる体制整備
- 子どもの頃からの環境保全意識の醸成
- 清潔な住環境の整備
- 地域資源の有効利用

コミュニティについて

- イベントによる世代間交流の促進
- 働く世代のまちづくり参加
- 住民各自の社会貢献やボランティア精神の向上

活動方針

- 地区内の交流を深めるため、全世代で楽しめる行事を実施
- 地区内の各種団体の紹介や行事・出来事などを広報する活動

- ICT（情報通信技術）導入で情報の共有化・迅速化
- 働く世代のまちづくり参加を容易にする各種会議のスリム化・効率化

まちづくり協議会全体

- それぞれの特技や才能を生かしながら、生きがいとして楽しむ人々の交流や発表の場を設け、地区における伝統と文化の向上を推進

- 地区内のネットワークづくりと住民同士の交流を深めるため全世代で楽しめる各種スポーツの普及ならびに健康増進の活動を実施

文化・スポーツ部会

- 青少年にとって安全な環境づくりのため、関係団体との連携のもと青少年の健全育成と非行防止活動を推進

- 住民同士の交通防犯など安全運動を促進
- 事故防止に関する啓発とPRを実施

安全部会

- 挨拶・声かけ・見守りなどを地区全体で実施
- 住民同士が共に支え合えるネットワークづくりを推進
- 高齢者の健康を支える住民の学習や高齢者が参加できる場の設定
- 地区全体で軽度な生活支援をする住民ボランティア活動を実施

- 障害を持つ高齢者も暮らしやすいまちづくりを推進
- 高齢者と子どもが共に学び、交流する場の創出
- 子育てしやすい環境の整備と、子どもたちの地域参加の促進

福祉部会

- 地区や家庭において、日頃から減災対策を行うことにより未然に災害を最小限に食い止め、住民による自主防災の出来る安全なまちづくりを推進

- 自力では避難できにくい災害弱者に対して日常より住民同士の助け合いネットワークを作ることにより災害が起きても共に助け合うまちづくりを推進

防災部会

- ゴミ出し問題ゼロのまちづくりを推進

- 防犯対策と環境改善のために、美化運動を実施

環境美化部会

- 小木の里まつり
- 三世代グラウンドゴルフ交流会
- コミュニティスクール活動（富士第二小学校）
- 広報の発行
- インターネット環境の構築、ホームページの開設
- メール・SNSなどの利用による情報の伝達

- 小木の里文化祭
- 春・秋球技大会
- 小木の里体育祭
- スポーツ教室
- 健康講座

- 県下一斉補導（青少年指導員）
- 地域補導
- 防犯パトロール
- 交通安全運動

- 各区公会堂単位の住民福祉ネットワーク活動と支え合い見守り活動
- 福祉フェスティバル
- 敬老事業
- 講演会、学習会、地域懇談会、サロン（居場所）
- 竹の子祭り・竹の子駅前清掃・竹の子クリスマス会
- 近隣住民及びボランティアによる、手助けを必要とする住民に対する「軽度な生活支援」活動
- 障害を持つ高齢者などが、外出し易い交通手段などのシステムの拡充、道路などのインフラ整備を行政へ要望
- 子育て世代と子どもたちを含め、世代を超えた交流の場

- 啓発のための座学・研修(DIG、HUG、イメージTEN等)
- 学校防災教育への協力
- 総合防災訓練
- 地域防災訓練及び各種団体が連携した避難所運営訓練

- ゴミの分別を徹底し、収集の期日を厳守する活動
- 清潔な街並みを維持確保するための清掃活動
- 花々を咲かせるなどの美観向上活動

実施事業